

令和3年4月1日

保護者様

社会福祉法人 横浜クレッショ

理事長 小林高子

親も子もはじめての経験、保育園

〇ようこそ保育園へ

新入園児のみなさん、ようこそ平沼保育園へ。

お子さんだけでなく、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんとの新しい出会いが楽しみです。

大歓迎でおまちしておりました。

保育園生活が始まるにあたって、気持ちよくスタートできるように、少しだけ、アドバイスさせていただきます。

〇はじめての経験

さて、保育園には初めての最初の関門が、親子分離です。

子どもは、パパやママが大好き。本当は離れたくない。初めてのところは、不安。だから、泣いてしまう。

それを見て、親も、動揺して・・・ああ、どうしたらいいの？とそこから動けない。

こんな光景がくり広げられるのが、4月です。

しかし、最初のアドバイスとして、

「朝、保育園にやってきたら、ほどよくキリをつけて、サッと預けていただきたい」。

泣いているのに、そんなことできない・・・と悲しい気持ちになるのは、新米ママ・パパにとっては当然のことですよね。

しかし、親と子は、合わせ鏡です。子どもの姿をみて、親が悲しみ、また、親の困った顔を見て、子どもがもっと不安になる・・・これでは堂々巡りですね。鶏と卵、どちらが先なのかな？

親の方が、「大丈夫だよ」とサインを送って、涙の時間を短くする協力をお願いします。

パパやママの姿が見えなくなると、涙も、とまっていく。

子どもは、今いる場所に、なじもうとしはじめます。

「なじむ」というのは、後天的に獲得する社会性です。

安心できる環境で、しっかり育てていきたいですね。

そうは、分かっているけど、子どもの涙はつらいんだよという方たちへのアドバイスとしては、

保育園に来る前に、グューをいっぱいしてあげる。
帰ってきてから、い〜っぱい甘えんぼをさせてあげる。



そうやって、みなさん、乗り越えてきています。

「私が働くって決めただから。泣くのがつらいなら、仕事を辞めればいいんだ。でも、それをしないのは、自分だから」。

こんなふうに、自分を納得させたとおっしゃっているママもいました。

みなさん、同じ道を通ってきていますから、経験者たちの話を聞いてみると、お腹にストーンとおちる言葉があるかもしれません。

○親だって初めての経験

保育園は、パパママにとって初めての、子どもを介した「社会」となる場所です。

家にいれば我が子だけ大切にしていればいい。けれど、保育士さんたちは、1人に1人の先生がついているわけではありません。

だから、朝、泣いてぐずっている親子に、ずっと保育士さんがついていると、他の子が、どうしても手薄になってしまいます。

泣いている子の親は、どんな気持ち？
待っている方の子どもの親は、どうなのだろう？
視点をかえてみると、見えてくることがあると思います。



我が子1人だけの世界から、みんなの1人へ。

「うちの子大切・宝物」の気持ちを持ち続けながら、みんなの中の1人という視点も育てていってもらいたいと思います。

○慣らし保育ってどのくらいかかるの？

慣らし保育の期間は、およそ1週間から2週間くらいですが、お子さんによってかわってきます。それは、子どもを第一に考えているからこそ、でてくる違いです。
みんな、同じではないのですよ。

しかも、最初は涙・涙だったけれど、すぐにケロッとする子もいれば、全く泣きもしなかったのに、しばらくしたら大泣きしはじめることもあり、いろんなケースがあります。

子どもは、日々成長していて、泣くのは、「イヤ」だからではなく、「知恵」がついたからかもしれません。

そのあたりは、うちの保育士さんは、その子（親子）の最適を考えてくれる経験豊富なプロです。話を聞きながら、すすめていってください。

〇スムーズに保育園生活になじむために

慣らし保育の期間を短くしたいとの要望もあります。

それには、主任さんをはじめとするスタッフたちが、お電話や面接で、直接アドバイスをしていると思います。

おさらいすると、

保育園の時間にあわせて、生活をする。

例えば、8時に保育園に送ってこようとする方は、何時に起こせばいい？

子どもを7時に起こして、食事、お風呂、夜は早めに寝かせて、朝気持ちよく起こす。

頭の中でシュミレーションをして、生活時間を馴染ませておくと、スムーズに開始ができます。

〇親も子どもとともに成長

保育園の朝は、子どもにとっても親にとっても、スイッチの切り替えの練習。



気持ちよくスイッチを切り替えてスタートできれば、良き一日になります。

「スイッチの切り替え力」が育ったとしたら、子どもにとっての大きな収穫です。

親にとっても、この先（数年後には学校生活も始まりますからね）、ラクです（笑）。

一生使える力、ご家族と保育園が力を合わせて、一緒に育てていきましょう。

これから小学校に入るまでの長いお付き合い。

子どもたちが、居心地のよい日々を過ごせるよう、ベストを尽くして参ります。

お互いの信頼関係を育みながら、昼間の家族であり、よき子育てパートナーとなっていきたいと思えます。

どうぞ、よろしくおねがいします。

